

事業所名 森のいずみ でいクラブⅢ

公表:令和7年 3月 23日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や 改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか		20%	80%	1階の活動スペースは全 体的に狭い。	適宜2階のスペースを活用 する、戸外活動を行うなど、 対応を工夫していく。
	②	職員の配置数は適切であるか			100%	人手不足であり、特に送 迎が可能な正職員が足 りていない状況。	人員配置について理事長と 相談・交渉しつつ、ボラン ティアの募集などを適宜 行っていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか			100%	車椅子等に全く対応出来 ていない。	今後必要な児童が利用する ことになった場合は、玄関に スロープの設置等を検討。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設 定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		100%			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	40%	60%		実施しているが、結果に ついて一部のスタッフの みの把握になっている。	アンケート結果について、回覧等で共有するシ ステムを整えていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	40%	60%			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			100%		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか		20%	60%	人員の関係でまだまだ足 りていない。	事業所内研修の機会を増 やしていきたい。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	60%	40%		会議等をもっと増やして いきたい。	午前中の時間を使い、話し 合いの機会を増やしていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか		40%	60%		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		100%			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している か	80%	20%			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	80%	20%			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	60%	40%			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	20%	60%	20%		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		60%	40%	勤務時間の関係上、打ち合わせの全員参加が難しい。	グループLINEの活用など、連絡・情報共有のツールを考えたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	40%	60%			モニタリングに全員参加する方法を考えていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	60%	40%			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	80%	20%			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			100%	※現状医療的ケアが必要な児童がいない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		80%	20%		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	※まだ学校を卒業した児童がいない。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		60%	40%		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			100%		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		40%	60%	現状時間を確保できておらず、参加できていない。	午前中の時間を活用するなどして、参加の機会を設けていきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		40%	60%		

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	40%	60%			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%		
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20%	60%	20%		
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		100%		通信とLINEを使って情報発信をしているが、まだ満足とは言えない状況。	通信の発行頻度を上げる、もしくはHUGの機能を活用して情報発信の強化を行いたい
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	80%	20%			
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		20%	80%		
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	60%	40%		充分に行えているとは言えない。	消防署などに協力を要請する機会などを作っていく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60%	40%			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		100%		医師の指示書を入手できていない。	保護者と情報共有を行いながら日々のおやつや食事の提供の際に留意していく。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。